

- 問1 明治政府が、都市部においてガス灯の設置や洋風建築の導入といった「文明開化」を積極的に後押しした政治的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代の伝統文化を完全に否定することで、幕府の権威を民衆の記憶から消し去るため。 | 2. 都市部と農村部の経済格差を解消し、日本全体の生活水準を一律に向上させるため。 | 3. 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 | 4. 日本独自の「和魂洋才」という精神を世界に広め、アジアのリーダーとしての地位を確立するため。 |
|--|---|---|--|
-
- 問2 岩倉使節団には、将来の日本を担う人材を育成するために多くの留学生が同行した。この時、当時わずか6歳で同行し、後に女子英学塾（現在の津田塾大学）を創立するなど日本の女子教育の発展に貢献した人物は誰か。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 樋口一葉 | 2. 与謝野晶子 | 3. 平塚らいてう | 4. 津田梅子 |
|---------|----------|-----------|---------|
-
- 問3 1873年から明治政府が実施した地租改正について、それまでの収穫量に応じた年貢の納入から、土地の価格（地価）を基準とした金納へと変更した最大の目的は何ですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 地方の有力な豪農の力を弱め、政府が直接土地を管理できるようにするため | 2. 農村の貧困を解決するために、農民が納める税の負担を大幅に軽減するため | 3. 米の流通を制限することで、都市部における米の価格を下落させるため | 4. 天候による豊作や不作に左右されず、政府の歳入を安定させるため |
|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
-
- 問4 1873年（明治6年）から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|-------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 1. 土地の価格（地価）を基準とし、米で納める方式 | 2. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式 | 3. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式 | 4. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式 |
|---------------------------|-------------------------|----------------------------|--------------------------|
-
- 問5 明治政府が「廃藩置県」を実施した最大の目的は、どのような国家体制を築くことにありましたか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--------------------------------------|
| 1. 旧来の藩主による統治を認めつつ、天皇が象徴として君臨する緩やかな連合体制の維持 | 2. 全国を中央政府が直接支配し、軍事や徴税などの権限を一本化する中央集権体制の確立 | 3. 農民に土地の所有権を認め、それぞれの地域が独自の財政で運営を行う地方分権体制の推進 | 4. 各藩が独自の軍隊や法律を持つことで、地方の自立性を高める体制の構築 |
|--|--|--|--------------------------------------|
-
- 問6 明治政府が岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣した使節団の、主な目的と活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 日英同盟の締結に向けた軍事的な協力関係の構築と、最新兵器の導入検討 | 2. 下関条約の調印に向けた清との和平交渉と、領土割譲に関する最終確認 | 3. 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察 | 4. 開国を求める欧米諸国に対し、鎖国制度の維持を継続するための外交交渉 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
-
- 問7 1868年から1869年にかけて行われた戊辰戦争の経過について述べた次の文のうち、その終結に至るまでの説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 五街道の起点であり政治の中心地であった江戸において、江戸城が無血開城された時点で戦争の全行程が完了した。 | 2. 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。 | 3. 「天下の台所」と呼ばれた大坂にある大阪城が落城したことをもって、新政府軍に対する旧幕府軍の抵抗はすべて終了した。 | 4. 琵琶湖のほとりに築かれた安土城が戦いの舞台となり、新政府軍が旧幕府軍を完全に圧倒したことで戦争が終結した。 |
|---|---|---|--|
-
- 問8 明治政府が、生活様式の西洋化を伴う「文明開化」を推し進めた理由の一つとして、当時の外交上の目的をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 牛肉の消費を促進することで畜産業を盛んにし、それによって得られる税収をすべて軍備増強の資金に充てるため。 | 2. 江戸時代以来の伝統文化を完全に否定することで、旧幕府勢力の支持を失わせ、新政府の権威を絶対的なものにするため。 | 3. 西洋の文化を取り入れることで、日本が近代的な文明国であることを諸外国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 | 4. 西洋の宗教であるキリスト教を国教として採用することで、欧米諸国と全く同じ価値観を持つ国をつくるため。 |
|---|--|---|---|
-
- 問9 九州地方の南端に位置する鹿児島県を拠点とし、かつて新政府の要職にありながら、朝鮮への開国を武力で迫る「征韓論」を巡る対立で下野した人物が指導者となった出来事について、正しい人物名と名称の組み合わせを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-----------------|------------------|----------------|
| 1. 西郷隆盛 — 西南戦争 | 2. 大久保利通 — 廃藩置県 | 3. 板垣退助 — 自由民権運動 | 4. 江藤新平 — 佐賀の乱 |
|----------------|-----------------|------------------|----------------|
-
- 問10 明治維新前後の兵制の変化を整理した内容において、1873年（明治6年）の徴兵令に関する記述として正しいものはどれか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 満二十歳以上の男子に兵役の義務を課し、国民全体の義務として軍務を定めた。 | 2. 廃刀令と同時に実施され、武士が持つ帯刀の権利を軍人にのみ限定した。 | 3. 六歳以上の男女を学校に通わせる学制と同時に、女子に対しても軍務の義務を課した。 | 4. 家禄を返還した士族に対して、その補償として優先的に軍職へ就くことを認めた。 |
|---|--------------------------------------|--|--|
-
- 問11 明治時代初期、東京の街並みには西洋風のレンガ造りの建物が立ち並び、路上を馬車が行き交うようになりました。また、洋服を着た人々が増え、牛肉を食べる習慣が広まるなど、生活様式が劇的に変化したこの社会現象を何といいますか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 学制 | 3. 富国強兵 | 4. 廃藩置県 |
|---------|-------|---------|---------|
-
- 問12 1872年に新橋・横浜間で開通した日本初の鉄道について、その歴史的背景や目的を説明した記述として最も適切なものを、次のうちから選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 「廃藩置県」に反対する士族の反乱を鎮圧するため、兵士を迅速に輸送することを最大の目的として建設された。 | 2. 「地租改正」による税制の安定化を待ってから、民間の資本のみによって全線が建設された。 | 3. 「文明開化」の風潮のなか、欧米の優れた技術を導入して日本の近代化を世界に示す目的があった。 | 4. 「富国強兵」の一環として、北海道の炭鉱から石炭を輸出港へ運ぶために最初に整備された。 |
|--|---|--|---|
-
- 問13 明治政府が「官営模範工場」を設立した背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日米修好通商条約によって失った関税自主権を取り戻すための、外交的な交渉材料とするため。 | 2. 金融恐慌による深刻な不況を克服するために、政府が失業者を雇用する公共事業として行うため。 | 3. 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。 | 4. 第一次世界大戦による大戦景気を背景に、不足していた重工業製品を自給自足するため。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばされた不平等条約の改正は国家の悲願でした。そのためには、日本が法制度だけでなく社会生活においても欧米並みの「文明」を備えた近代国家であることを対外的に証明する必要がありました。このように、生活様式の変化は単なる流行ではなく、外交上の目的とも深く結びついていました。
問2	答え 4 津田梅子	岩倉使節団には、岩倉具視や木戸孝允、大久保利通といった政府の重要人物だけでなく、5人の少女を含む留学生が同行していました。その一人である津田梅子は、アメリカで長く教育を受けた後に帰国し、女子の高等教育を推進するために私塾を設立し、日本の教育制度の充実に寄与しました。
問3	答え 4 天候による豊作や不作に左右されず、政府の歳入を安定させるため	明治政府が近代国家としての基盤を固めるためには、軍備の増強や産業の育成に必要な多額の資金を計画的に確保する必要がありました。それまでの年貢制度では、冷害や干ばつといった天候による不作が起きると政府の収入が激減するという課題がありました。土地の所有者に「地価」に応じた一定額の現金を納めさせる仕組みに変えることで、国家財政の根幹となる歳入を天候に関わらず一定に保つことが狙われました。
問4	答え 3 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問5	答え 2 全国を中央政府が直接支配し、軍事や徴税などの権限を一本化する中央集権体制の確立	欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるためには、バラバラだった藩を廃止し、権力を中央政府に集中させる必要がありました。廃藩置県によって地方の軍事や財政を政府が掌握できるようになったことは、その後の徴兵令や地租改正などの改革を推進する基盤となりました。
問6	答え 3 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察	岩倉使節団は、明治政府が直面していた江戸時代の不平等条約の改正を大きな目標として掲げていました。交渉自体は日本の法整備が不十分であることを理由に難航しましたが、欧米の政治、経済、教育などの進んだ実態を直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問7	答え 2 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。	戊辰戦争は1868年、京都での鳥羽・伏見の戦いから始まりました。その後、戦いの舞台は東日本へと移り、江戸の無血開城や東北地方での会津戦争などを経て、最終的には北海道の函館にある五稜郭に立てこもった旧幕府軍が降伏するまで続きました。この五稜郭での戦いが、明治維新に伴う国内最大の内戦の終わりを意味しています。
問8	答え 3 西洋の文化を取り入れることで、日本が近代的な文明国であることを諸外国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正は最優先の外交課題でした。欧米諸国から「対等な交渉相手」と認められるためには、法制度の整備だけでなく、社会全体が西洋並みの「文明」を備えていることを証明する必要がありました。そのため、政府は鹿鳴館などの施設を建設し、生活習慣の西洋化を対外的なアピールの材料としても利用しました。
問9	答え 1 西郷隆盛 — 西南戦争	征韓論に敗れて鹿児島へ帰郷していた西郷隆盛が、私学校の生徒らに推される形で政府軍と戦いました。日本全図において九州の南部に位置する鹿児島がこの反乱の拠点となりました。
問10	答え 1 満二十歳以上の男子に兵役の義務を課し、国民全体の義務として軍務を定めた。	徴兵令は、満二十歳に達したすべての男子に兵役を義務づける制度です。当初は戸主や学生などに免除規定がありましたが、原則として国民全員が国家を支える兵士となる「国民皆兵」の原則を確立しました。これは、秩禄処分（家禄の廃止）などと並び、武士という身分の経済的・特権的地位を解消していく改革の一環でもありました。
問11	答え 1 文明開化	明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、西洋の進んだ技術や制度だけでなく、文化や生活様式も積極的に取り入れました。これにより、建築・衣服・食事といった人々の日常生活が急速に西洋化しました。こうした現象は、当時の知識人である福沢諭吉らが紹介した西洋思想の影響もあり、広く社会に浸透しました。
問12	答え 3 「文明開化」の風潮のなか、欧米の優れた技術を導入して日本の近代化を世界に示す目的があった。	明治政府は、西洋諸国に追いつくための「富国強兵」や「殖産興業」の一環として、交通網の整備を重視しました。イギリス人技師の指導のもとで開通した新橋・横浜間の鉄道は、単なる輸送手段にとどまらず、日本の近代化を象徴する事業として位置づけられていました。これにより、移動時間は大幅に短縮され、人や物の流れが劇的に変化しました。
問13	答え 3 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。	当時の日本は、欧米から輸入される安価で高品質な製品に対抗する必要がありました。そこで政府は自ら富岡製糸場などの官営模範工場を経営し、お手本となる技術を民間に示すことで、日本の産業全体のレベルを引き上げようとしていました。これにより、後の民間資本による産業の発展の基礎が築かれました。